

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課	所属長名	尾崎 隆	電 話	483-1151 内線6210
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3396		事務事業名称	小学校管理事業						短縮コード	経常	3396	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校教育法及び教育基本法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
法律制定時から開始 小学校22校の学校運営に必要な維持管理を行っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
平成14年7月文部科学省より、昭和56年以前の建物について耐震診断を実施するよう言い渡された。また、平成14年4月より学校環境衛生基準の一部改正により、学校用備品の搬入等、また、新設・改築・改修等を行なった際にはホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準値以下であることを確認すること。更に、改正建築基準法に基づくシックハウス対策が平成15年7月1日より施行された。						大項目（節）	01	学校教育						
						中 項 目	02	義務教育						
						小項目（施策）	01	教育環境の整備						
						細 項 目	02	施設・設備の整備						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市立小学校運営上の一般管理業務							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： ①予算の積算及び予算の執行に関わる事務②学校配当の積算, 予算書の作成及び支出負担の検収及び支出票起票③一括購入, 委託, 借り上げ他に係わる事務④県等からの調査物の作成⑤用務員により学校の用務を行なう							
	※平成20年度に計画していること： 19年度と同様							
意図 （何を狙っているのか）	学校運営の現場に必要な備品等を過不足なく適時に提供する 学校管理予算の効率的な執行をする							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	業務類型数（一般管理業務として取り扱っている業務の数）	件	5	5	5	5	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	学校運営に必要な消耗品, 備品, 機械等の借上の伝票件数	件	917	900	1,568	1,200	
	指標2	施設・設備維持管理に伴う修繕と委託件数	件	341	250	339	330	
	指標3							
成果指標	指標1	備品の充足率（配置した備品点数/想定した備品点数）	%	100	100	100	100	
	指標2	トータルコストに占める職員人件費（用務員除く）の割合	%	3.9	3.9	9.7	9.7	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3396	事務事業名称	小学校管理事業			所属名	教育総務課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			教育基本法及び学校教育法に則ったものであり、上位の施策を達成するためには、継続する必要がある。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状のまま継続して行く。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
施設・設備の老朽化などが指摘され、また、余裕教室などの活用ということで、学校本来の目的外の使用の要求が増え続けている。	

所属長コメント	児童が快適な環境で学校生活を送るために必要な施設の維持管理について、更に充実させることが必要である。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		